



19  
議席

## 都議会野党第一党の力

## 時代を先取り、切り拓く

約4割値下げ  
シルバーパス年間  
20,510円  
12,000円

※所得が135万円を越える方



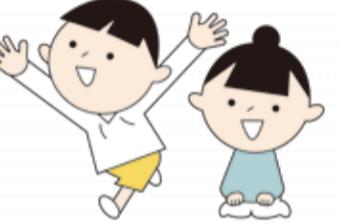
日本共産党都議団は2017年以降、シルバーパスの値下げ条例を5回提出し、そのたびに自民・公明・都民ファなどが否決しました。しかし、あきらめずに質問や予算要望も含め繰り返し提案し、ついに今年10月からの値下げが実現しました。

ついに無償に  
学校給食費

今年1月から都内の公立学校はすべて給食費無償になりました。日本共産党都議団は、議会質問や申し入れを積み重ね、条例提案も4回するなど、無償化を求めてきました。小池知事は「国がやるべきもの」と後ろ向きでしたが、都民の運動と力を合わせてついに重い扉をひらきました。夜間定時制高校では給食を食べる生徒が大幅に増えたなど、喜ばれています。

18歳まで拡大・所得制限撤廃  
子ども医療費助成

子どもの医療費無料化を都議会で初めて提案したのは日本共産党都議団です。数十年にわたって質問、条例提案などで充実を求めてきました。ついに昨年には18歳までの医療費助成が実現。今年10月には所得制限もなくなります。

都内全区市町村に広げる計画  
補聴器助成

補聴器についての都民アンケートを行い、寄せられた切実な声をもとに質問。都側から「早期からの補聴器使用は日常生活の質の向上を図る上で有効」という答弁を引き出しました。その後、都は補助を充実し、来年度までに補聴器助成の実施を都内全区市町村に広げる計画を作りました。

徹底した調査で  
不正を追及

## 一致点で共同を広げる



中学校英語スピーキングテストは中止に

6年間で210億円もかけるのに、入試に使える公平さがない——議連を発足させ市民の皆さんとともに連携して運動を広げてきました。昨年は運営ミスで255人が再試験に。試験監督が集まらず、試験当日まで募集するなど、状況も明らかになりました。先生を増やして授業を充実した方が、楽しく学べ力もつきます。

## 「祈念館」つくり平和の発信を

98、99年の付帯決議を機に建設凍結された「東京都平和祈念館」。日本共産党都議団は、戦争の記憶を風化させず平和を発信するための施設が必要だと訴え続け、2023年には5会派共同で、建設推進を求める共同声明を発表しました。東京大空襲80年のこの3月

には、空襲体験を聞くつどいを都議会内で開催することができました。

都でも「祈念館」で展示するために撮影した「証言ビデオ」の公開が始まるなど、平和に向けた努力が前に進んでいます。

神宮外苑再開発 アセス条例改正を共同提案

神宮外苑再開発は、イコモス（国際記念物遺跡会議）など国内外の専門家から厳しい警告や要請がくりかえされました。三井不動産や東京都は耳を傾けず、樹木が次々と伐採され、多くの人が胸を痛めています。

日本共産党都議団をはじめ「神宮外苑再開発をやめ、自然と歴史・文化を守る東京都議会議員連盟」に

参加する6会派は共同で、環境影響評価条例の一部改正案を提案。

環境影響評価の手続きを強化し、審議会委員以外の専門家の出席や、評価書などに虚偽の記載があった場合に知事が勧告できるようにします。

自民・公明・都民ファなどが否決しました。

## 都議会自民党の裏金問題を告発

全容解明へ徹底追及開始  
—政治倫理条例検討委員会

日本共産党都議団など3会派は、全容解明のために裏金都議全員の参考人招致を求めました。ところが、自民・公明・都民ファは、この提案を否決し、都議会自民党の元幹事長2人だけに絞ることを数の力で押し通しました。

都議会自民党元幹事長の参考人質疑を通じて、元幹事長自身の裏金に関する資料を提出することになりましたが、その他の裏金都議については本人から説明を聞かなければ、全容解明はできないことがあらためて明らかになりました。また、日本共産党都議団が明らかにした裏金議員の「ノルマ超過分管理リスト」について、その信ぴょう性を裏付ける回答が元幹事長からありました。

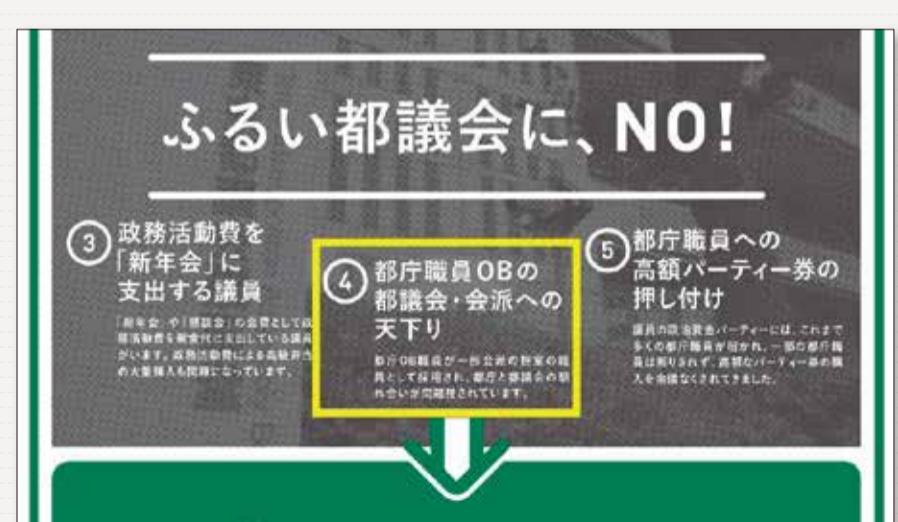
2019年政治資金パーティー開催の内部文書(右)  
裏金議員の「ノルマ超過分管理リスト」(左)

さらに  
小池都政幹部の  
天下り先裏管理リスト  
に自民党が—癒着の温床

都が、天下り先ポストの裏管理リストを作成していることを暴露。年収や退職金、秘書、送迎の車、専用個室の有る無し、などが記載されています。そして、そのリストの中に都議会自民党の事務局が入っています。

小池知事が代表を務めていた当時、都民ファーストの会は、「都庁OB職員が一部会派の控室の職員として採用され、都庁と都議会のなれ合いが問題視されている」古い都議会を変えると公約しました。小池知事は、この公約を投げ捨てました。

都庁と都議会のなれ合い・癒着をなくすために、都庁幹部職員の都議会会派への再就職、天下りは禁止すべきです。



小池知事が代表を務めていた当時の都民ファーストの会の公約

「都議会自民党裏金問題」  
動画はこちら→

